平成 29（2017）年度
東京大学大学院学際情報学府
学際情報学専攻
博士課程学生募集要項（冬季募集）

社 会 情 報 学 コ ー ス
文化・人間情報学コース
総合分析情報学コース

※受験予定コースの「入学試験案内」も併せて確認すること。

(URL: http://www.iii.u-tokyo.ac.jp/)

※先端表現情報学コースは、冬季募集を行わないので注意すること。

【本要項の問合せ先】
東京大学大学院学際情報学府事務部学務係
〒113-0033　東京都文京区本郷 7-3-1
電話　03-5841-8769,8768
E-mail:gakumu@iii.u-tokyo.ac.jp

平成 29(2017)年度東京大学大学院学際情報学府
学際情報学専攻博士課程学生募集要項（冬季募集）（案）

教育研究上の目的

本学府は、全学の情報関連教育研究組織の有機的な連携のもとに、学際的かつ実践的な学びの環境を提供し、高度情報化社会の諸分野で求められる情報の処理技術、それらの社会的な意味や機能に関する高度な知識を幅広く有する人材を育成することを目的とします。ここでは、実践的な情報リテラシーを身につけた人材養成と社会人再教育を行うと同時に、文理融合的に情報学のフロンティアを切り開く研究者・表現者の養成を行います。

求める学生像

・情報に関連するさまざまな現象について、文理を越境する幅広い視野と知的好奇心を持つ人。
・研究テーマを学問的に展開させるための専門的能力を有し、それをさらに深める意欲を有する人。
・既成の概念にとらわれない新鮮な着想力と、斬新な研究をやり遂げる堅実な実行力を持つ人。
・情報学のフロントランナーとして、未知の問題の解決に向けて独創的かつ文理融合的なスタンスで取り組むことができる人。

1. 出願資格（以下(1)～(13)のいずれかの要件を満たす者）

(1) 本学府において平成 29(2017)年 3 月 31 日までに修士の学位を得る見込みの者
(2) 本学他研究科・教育部において平成 29(2017)年 3 月 31 日までに修士の学位または専門職学位を得る見込みの者
(3) 本学において修士の学位または専門職学位を得た者
(4) 本学以外の大学において修士の学位または専門職学位を得た者及び平成 29(2017)年 3 月 31 日までに得る見込みの者
(5) 外国において、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成 29(2017)年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
(6) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により修士の学位を授与された者及び平成 29(2017)年 3 月 31 日までに授与される見込みの者(注 1)
(7) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成 29(2017)年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
(8) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成 29(2017)年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
(9) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和 51 年法律第 72 号）第 1 条第 2 項に規定する 1972 年 12 月 11 日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成 29(2017)年 3 月 31 日までに授与される見込みの者

（注 1）上記(6)に該当する者とは、学位授与機構または大学評価・学位授与機構から修士の学位を授与された者及び授与される見込みの者を示す。

○ 以下(10)～(13)の出願資格については、出願前に審査（(10)、(11)、(12)）または個別の入学資格審査（(13)）を行う。

(10) 外国の学校、上記出願資格（8）の指定を受けた教育施設または国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準（昭和 49 年文部省令第 28 号）第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格した者及び平成 29（2017）年 3 月 31 日までに合格見込みの者で、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本学府において認めた者

(11) 大学を卒業し、日本国内または外国の大学もしくは研究所等において 2 年以上研究に従事した者及び平成 29(2017)年 3 月 31 日までに 2 年以上研究に従事する見込みの者で、当該研究の成果等により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本学府において認めた者

(12) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、または外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、日本国内または外国の大学もしくは研究所等において 2 年以上研究に従事した者及び平成 29(2017)年 3 月 31 日までに 2 年以上研究に従事する見込みの者で、当該研究の成果等により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本学府において認めた者

(13) 個別の入学資格審査をもって、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本学府において認めた者で、平成 29(2017)年 3 月 31 日において 24 歳に達している者（注 2）

(注 2) 上記(13)に該当する者とは、上記(1)から(12)に該当しない者のうち、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本学府において認めた者である。

○ 上記(10)、(11)、(12) または(13)の資格により出願しようとする者については、以下の書類等を平成 28(2016)年 11 月 2 日(水)までに必ず書留郵便により本学府事務部学務係(後記 2.(3))に郵送すること(平成 28(2016)年 11 月 3 日(木)以降に到着したものについては、11 月 2 日(水)までの消印があるものに限り有効とする)。その際、封筒の表に「東京大学大学院学際情報学府博士課程出願資格((10)、(11)、(12) または(13))審査提出書類」である旨を明記すること。

※ 審査または個別の入学資格審査に伴う提出書類については、原則として返却しない。

書類等	提出者	摘　要
履歴書	出願資格 (10),(11),(12),(13)全員	任意様式（以下の事項を記載） ・生年月日、現住所、電話番号等連絡先 ・小学校からの全学歴（それぞれの学校名、入学・卒業年月、在学年数及び正規の修業年数を明記） ・その他、研究歴、国際的活動経験、実務経験、取得資格、各種国家認定試験、公表論文・著書、学会等における発表の実績、受賞歴等、該当するもの
成績証明書	出願資格 (10),(11),(12),(13)全員	学部（教養課程を含む 4 年間）及び修士課程（在籍履歴がある場合）の成績証明書 ※出願資格(13)の場合は、出願者の在籍した（または在籍中の）教育施設における学部及び修士課程に相当する課程の成績証明書
審査結果通知用封筒	出願資格 (10),(11),(12),(13)全員	長形 3 号の封筒（120㎜×235㎜）に出願者本人の宛名を記入し、362 円分の切手を貼ったもの。
出身大学等が作成（署名）した審査合格確認（証明）書類	出願資格(10)のみ	内容については、平成 28（2016）年 10 月 27 日（木）までに本学府事務部（後記 2.(3)）に申し出て、その指示に従うこと。

研究成果に関する資料	出願資格(11),(12)のみ	研究の成果を示す公表論文・著書、学会等における発表の内容が掲載されている冊子等
教育施設に関する資料	出願資格(13)のみ	出願者の在籍した（または在籍中の）教育施設の概要、授業内容・教材等、授業時間数、採点・評価基準等の掲載されている冊子等

○ 審査または個別の入学資格審査で修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本学府において認めた者について、出願を受け付け、受験を許可する。
なお、審査の結果は平成 28(2016)年 11 月 25 日(金)までに郵送により通知する。

2. 出願方法・出願期間等

(1) 出願方法　出願は、郵送に限る。郵送にあたっては、後記「7.提出書類等」を一括して各自で用意した角形 2 号の封筒（240㎜×322㎜）に入れ、書留速達郵便とすること。
ただし、提出書類の内、以下の書類については、異なる提出方法及び提出期間を指示する場合があるので、後記「7.提出書類等」の注及び受験予定の各コースの「入学試験案内」を参照すること。
・「論文」及び「論文要旨」
・TOEFL、TOEIC、文部科学省認定実用英語技能検定の成績（合格）証明書

(2) 受付期間　平成 28(2016)年 12 月 5 日(月)～12 月 8 日（木）
（平成 28(2016)年 12 月 9 日(金)以降に到着したものについては、平成 28(2016)年 12 月 8 日（木)までの消印のあるものに限り有効とする。）

(3) あて先　東京大学大学院学際情報学府事務部学務係
〒113-0033　東京都文京区本郷 7－3－1
電話　03-5841-8769,-8768

3. 選抜方法

(1) 入学者の選抜は、一次試験及び二次試験による。ただし、二次試験は、一次試験合格者についてのみ行う。

(2) 一次試験の判定は、社会情報学コース、文化・人間情報学コースにおいては、書類選考により行われる。総合分析情報学コースにおいては、筆記試験及び書類選考により行われる。

(3) 二次試験は、修士の学位論文またはこれに代わるもの及び研究計画等について、口述試験を行い、一次試験の内容と合わせて総合的に判定する。

4. 試験科目及び募集人員

専　攻	コース	募集人員（注１）	一次試験		二次試験
			筆記試験 専門科目	書類選考	口述試験
学際情報学	社会情報学	９名	筆記試験なし	提出書類等（後記 7.）に基づいて行う。	修士の学位論文またはこれに代わるものの審査、研究能力及び研究計画について総合的に行う。
	文化・人間情報学	１１名	筆記試験なし		
	総合分析情報学	８名（注２）	当該コースの専門に関わる領域。（注３）（注４）		修士の学位論文またはこれに代わるものの審査、研究能力及び研究計画について総合的に行う。
先端表現情報学コース（注５）					

（注１）試験の結果によっては、入学許可者数が募集人員に達しない場合もある。
（注２）総合分析情報学コースは夏季にも募集を行っている。上記の募集人員は夏・冬の合計人数である。
（注３）総合分析情報学コースでは、出願資格(1)の受験者は、筆記試験を免除する。
※一次試験の判定は筆記試験及び書類選考により行われるので、筆記試験を免除された者であっても、必ずしも一次試験合格者とはならない場合があることに留意すること。
（注４）総合分析情報学コースでは、出願資格(2)～(13)の受験者は、査読付き論文 2 本以上の写しを出願時に提出することで、審査の結果、一次試験の専門科目筆記試験を免除する場合がある。免除するか否かは、受験票等の発送に併せて通知する。
※一次試験の判定は筆記試験及び書類選考により行われるので、筆記試験を免除された者であっても、必ずしも一次試験合格者とはならない場合があることに留意すること。
（注５）先端表現情報学コースは、冬季募集を行わない。

※ 試験科目の詳細については、受験予定の各コースの「入学試験案内」を参照すること。

5. 試験期日及び場所

＜社会情報学コース、文化・人間情報学コース＞
(1) 出願資格(1)による出願者の二次試験(口述試験)の期日及び場所は、出願後通知する。
(2) 出願資格(2)から(13)による出願者の二次試験(口述試験)は、平成 29(2017)年 2 月 11 日(土)に行う。

＜総合分析情報学コース＞
(1) 一次試験(筆記試験)は、平成 29(2017)年 1 月 10 日(火)に行う。
試験時間割、試験場その他詳細は、受験票とともに郵送する「受験者心得」による。
※ 筆記試験の詳細については、受験予定の各コースの「入学試験案内」を参照すること。
(2) 二次試験(口述試験)：一次試験合格者を対象に行う。
ア）出願資格(1)による出願者の二次試験（口述試験）の期日及び場所は、出願後通知する。
イ）出願資格(2)から(13)による出願者の二次試験（口述試験）は、平成 29(2017)年 2 月 11 日（土）に行う。

6. 合格者の発表及び入学手続

(1) 一次試験合格者の受験番号及び二次試験(口述試験)の集合時間・場所は、平成 29(2017)年 2 月 1 日(水)14 時頃、情報学環本館玄関前に掲示する。

(2) 最終合格者の受験番号は、平成 29(2017)年 2 月 21 日(火)14 時頃情報学環本館玄関前に掲示する。

また、最終合格者に対しては、掲示に加えて郵送により通知する。

(3) 電話による合否についての照会には、一切応じない。

(4) 入学許可の通知は、平成 29(2017)年 2 月下旬頃本人宛に郵送する。

(5) 入学許可の通知を受けた者は、その際送付される入学手続に関する指示に従い、平成 29(2017)年 3 月の所定期間内に必要な手続(入学料の納付及び入学手続書類の提出)を行うこと。所定の期間内に入学手続を行わない場合には、入学しないものとして取り扱うので注意すること。

(6) 入学時に必要な経費(平成 29(2017)年度予定額)

(日本政府(文部科学省)奨学金留学生に対しては徴収しない。)

①入学料　　282,000 円(予定額)

②授業料前期分　　260,400 円(年額 520,800 円)(予定額)

(注) 上記納付金額は、予定額であり、入学時または在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用される。

7. 提出書類等

書類等	出願資格				摘　要
	(1)	(2)	(3)	(4)から(13)	
＊入学願書（正・副）	○	○	○	○	所要事項を記入したもの。
＊受験票	○	○	○	○	所要事項を記入したもの。
＊指導教員希望調査書	○	○	○	○	所要事項を記入したもの。
論文	○注1	○注2	○注3	○注3	修士の学位論文またはこれに代わるもの(本学府所定の論文添付票を貼付すること)。
論文要旨	○注1	○注2	○注3	○注3	A4 判任意用紙 4 枚以内にまとめたもの(本学府所定の論文要旨添付票を貼付すること)。
＊研究計画書	○	○	○	○	本学府入学後の研究計画を、A4 判任意用紙 2 枚程度にまとめたもの(本学府所定の表紙を付けること)。
＊自己推薦書	○	○	○	○	出願者の基礎学力及び専門領域の能力を自らが評価し、記入したもの。なお、必要に応じ、上記の「論文」以外に情報学及びその関連する分野における実績があれば、その概要を記したものや目録、現物またはそのコピー（著書、論文、報告書、作品など。ただし、主要なもの 1 編に限る。）を所定の封筒に同封して提出すること。提出物は返却しない。
・TOEFL 成績証明書 (社会情報学コース、 文化・人間情報学コース を志望する者のみ)				○注4	2015 年 1 月 1 日以降、前記「2. 出願方法・出願期間等 (2)受付期間」終了までに受験したもの。 詳細は、受験予定の各コースの「入学試験案内」参照。

・TOEFL 成績証明書 ・TOEIC 成績証明書 ・実用英語技能検定(通称:英検)の1級もしくは準1級の合格証明書のいずれか (総合分析情報学コースを志望する者のみ)				○注4	2015 年 1 月 1 日以降、前記「2.出願方法・出願期間等 (2)受付期間」終了までに受験したもの。 詳細は、総合分析情報学コースの「入学試験案内」参照。
・査読付き論文 2 本以上の写し (総合分析情報学コースを志望する者で、専門科目筆記試験の受験免除を希望する者のみ)		○	○	○	専門科目筆記試験の受験免除を希望する場合のみ。 詳細は、総合分析情報学コースの「入学試験案内」参照。
＊推薦書 (文化・人間情報学コース及び総合分析情報学コースを志望する者のみ)		○	○	○	出願者の専門領域に関わる研究面での経験及び能力に関する評価を記入したもの。 評価者は、官公庁、企業及び団体等の所属機関の上司、卒業論文他学位論文の指導教員、その他本人の経験及び能力を熟知している者等とする。
出身大学及び出身大学院の成績証明書		○	○注5	○	・学部(教養課程を含む 4 年間) 及び修士課程 (博士前期課程) の成績証明書または専門職学位課程の成績を証明するもの。 ・大学に編入学している場合は、編入学前の大学等の成績証明書も提出すること。 ・原本を提出。
出身大学院の修了証明書		○	○注5	○	・成績証明書に修了年月日が記載されている場合は不要。 ・外国の大学院を修了した場合は、取得学位が記載されているもの。 ・出願資格(6)の者は、学位授与機構または大学評価・学位授与機構が作成した学位授与証明書を提出すること。 ・原本を提出。
出身大学院の修了見込証明書 (外国の大学院の修了見込者のみ)				○	原本を提出。

検定料 **【銀行振込の場合】** ＊「東京大学」 入学検定試験検定料 振込金受付証明書（C票） **【コンビニエンスストアでの払込の場合】** 収納証明書 **【クレジットカードでの払込の場合】** 「受付完了画面」のプリントアウト			○注6	○注6	検定料：30,000 円 銀行振込もしくはコンビニエンスストアまたはクレジットカードでの払込に限る。また、振込の際に発生する払込手数料は出願者本人の負担となるので留意すること。 **【銀行振込の場合】** 所定の振込依頼書に必要事項を記入のうえ、最寄りの金融機関（ゆうちょ銀行・郵便局不可）から振り込むこと（ＡＴＭ、インターネット等は利用しないこと）。振込方法等の詳細は、本学府所定の振込依頼書及び注意書を参照すること。 **【コンビニエンスストアまたはクレジットカードでの払込の場合】** コンビニエンスストアは、セブン-イレブン、サークルＫ、サンクス、ローソン、ファミリーマート、ミニストップに限る。 実際の払込に関する操作手順や注意事項については、別紙 **「東京大学大学院学際情報学府コンビニエンスストア・クレジットカードでの検定料払込方法」** を参照のうえ払い込むこと。また、払込の際に発生する払込手数料は出願者本人の負担となるので留意すること。
受験票送付用封筒	○	○	○	○	各自で用意した長形 3 号の封筒（120㎜×235㎜）に出願者本人のあて先（郵便番号、住所及び氏名）を記入し 372 円分の切手を貼ったもの。
＊書類送付先	○	○	○	○	所要事項を記入したもの。
＊日本語学力証明書 (外国人出願者のみ)				○注7	日本語担当教員またはこれに準ずる者が作成したもの。
＊出願チェックシート	○	○	○	○	所要事項を記入したもの。

※ ＊印は所定様式を使用すること。ただし、研究計画書については、表紙のみ所定様式を使用すること。

※ 提出書類等の詳細については、受験予定の各コースの「入学試験案内」を参照すること。

注１　他の提出書類と別に「東京大学大学院学際情報学府修士学位論文提出要領」に基づき提出すること。

注２　他の提出書類と別に平成 29(2017)年 1 月 10 日(火)までに、論文及び論文要旨各 3 部を、各自で用意した封筒により、書留速達郵便により郵送すること。(平成 29(2017)年 1 月 11 日(水)以降に到着したものについては、平成 29(2017)年 1 月 10 日(火)までの消印のあるものに限り有効とする)。

注３　前記「2. 出願手続 (2)受付期間」内に、他の提出書類とは別に、論文及び論文要旨各 3 部を、各自で用意した封筒により、他の提出書類と同日に書留速達郵便により郵送すること。

ただし、平成 29(2017)年 3 月に修士の学位または専門職学位を得る見込みの者については、平成 29(2017)年 1 月 10 日(火)までに郵送すればよい(平成 29(2017)年 1 月 11 日(水)以降に到着したものについては、平成 29(2017) 年 1 月 10 日(火)までの消印のあるものに限り有効とする)。

注４　前記「2.出願方法・出願期間等 (2)受付期間」に間に合わない場合は、別途、各自で用意した封筒により、平成 29(2017)年 1 月 10 日(火)必着で書留速達郵便により郵送すること（詳細については、受験予定の各コースの「入学試験案内」を参照すること。)。
注５　本学府修了者は不要。
注６　日本政府(文部科学省)奨学金留学生は不要。
注７　日本の大学を卒業した者、日本の大学院を修了した者または修了見込みの者については不要。

8. 注意事項

(1) 同一時期の募集において、本学府内の複数のコースに同時に出願することはできない。また、同一時期の募集において、修士課程と博士課程に同時に出願することはできない。
(2) 他の研究科・教育部（情報学環教育部研究生とは異なる）と重複して入学することはできない。
(3) 提出書類は入学者選抜のための重要な資料となるので、正確に作成すること。提出期限までに所定の書類が完備しない願書は受理しない。また、出願手続後は、どのような事情があっても、書類の変更は認めず、検定料の払い戻しはしない。
(4)「受験票」及び「受験者心得」は、出願者本人に郵送する。平成 28(2016)年 12 月 22 日(木)までに到着しない場合は、必ず本学府事務部学務係（前記 2.(3)）に連絡し、受験に必要な指示を受けること。
(5) 障害等のある者は、受験及び修学上特別な配慮を必要とすることがあるので、これを希望する者は出願時に本学府事務部学務係(前記 2.(3))に申し出ること。
(6) 外国人は、入学手続までに「出入国管理及び難民認定法(昭和 26 年政令第 319 号)」による、大学院入学に支障のない在留資格を有すること。
(7) 官公庁、企業及び団体等に在職のまま大学院に入学しようとする者は、入学手続の際に、在学期間中学業に専念させる旨の勤務先の所属長の承諾書(様式任意)を提出すること。
(8) 事情によっては、出願手続及び試験期日等について、変更することもある。
(9) 出願手続後は、どのような事情があっても、書類の返却はしない。
(10) 入学手続後は、どのような事情があっても、入学料の払い戻しはしない。
(11) 出願に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜(出願処理、選抜実施)、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用する。また、同個人情報は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学等)、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請、図書館の利用等)、③授業料徴収に関する業務を行うために利用する。
(12) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の本学の入試及び教育の改善に向けた検討のために利用することがある。
(13) 提出書類における履歴等について虚偽の記載をした者は、入学後においても遡って入学を取り消すことがある。

平成 28(2016)年 9 月

平成 29（2017）年度
東京大学大学院学際情報学府
学際情報学専攻
入学試験案内（博士課程・冬季募集）

文化・人間情報学コース

注意：本案内以外に、本学府博士課程学生募集要項（冬季募集）についても必ず目を通すこと。

出願上の諸注意

出願資格(1)～(13)の詳細については、本学府学生募集要項「１．出願資格」を参照のこと。

１．入学願書作成に関する注意

(1) 入学願書は正・副 2 枚ある。必ず 2 枚とも提出すること。

(2) 入学願書（正・副）は、コースにより様式が異なるので、十分注意して選択し、1 コースのみ提出すること。万が一、提出書類でコースの選択が統一されていない場合、入学願書（正）で選択したコースに出願したものとして取り扱う。

(3) 「出身大学」及び「出身大学院」の欄に正確な学部（研究科・学府）・学科（専攻）名を必ず記入すること。また、東京大学大学院を平成 29(2017)年 3 月に修了見込の者は、現在の学生証番号を記入すること。

(4) 複数の大学を卒業又は大学院を修了（見込）の場合は、裏面の履歴に記入すること。

(5) 「現在の身分」欄は、「出身大学院」欄の大学院に在学中以外の所属がある場合のみ、所属機関、部署等の名称及び身分を具体的に記入すること。研究生等の場合も同様。

(6) 入学願書に貼付する写真 3 枚(受験票貼付分を含む)は、同一のものを使用すること。

(7) ファクス番号(fax)及び電子メールアドレス(e-mail)の欄は、緊急連絡手段として記入可能なものがあれば、記入すること。

２．成績証明書に関する注意

(1) 学部の成績証明書は、必ず教養課程を含んだ 4 年間分を提出すること。

(2) 複数の大学を卒業又は大学院を修了(見込)の場合は、複数の成績証明書を提出してもよい。

(3) 大学に編入学している場合は、編入学前の大学等の成績証明書も提出すること。

(4) 原本を提出すること。

３．指導教員希望調査書に関する注意

(1) 「学生受入教員名簿（博士課程)」（後掲）を参照の上作成すること。

(2) 「指導教員希望調査書」に記入する教員は、必ず志望するコースに記載された教員から選ぶこと。

(3) なお、指導教員は本調査書の内容を尊重の上、入学後に最終的に決定される。

４．推薦書に関する注意

(1) 出願者の専門領域に関わる研究面あるいは、実務面での経験及び能力に関する評価を記入したもの。

(2) 評価者は、官公庁、企業及び団体等の所属機関の上司、卒業論文他学位論文の指導教員、その他本人の経験及び能力を熟知している者等とする。

(3) 評価者は、推薦書記入後、任意の封筒に入れ、厳封すること。

５.「論文」及び「論文要旨」の提出に関する注意

出願者の「論文」及び「論文要旨」の提出方法について、次のとおり補足する。

(1) 所定の「論文･論文要旨送付ラベル」を各自用意した送付用封筒の表に貼付の上、「書留速達郵便」により、郵送すること。

(2) 平成 29(2017)年 3 月 31 日までに修士の学位又は専門職学位を得る見込みの者について、「論文」及び「論文要旨」の提出が、出願と同時でないことを認めているが、必ず「博士課程学生募集要項」記載の所定の期限までに書留速達郵便にて郵送すること。郵送以外は、受け付けない。

なお、所定の期限までに提出できない場合は、受験を中途で辞退する旨を本学府事務部学務係に連絡すること。ただし、提出書類等（検定料を含む）は返却しない。

(3) 上記(2)以外の者は、所定の受付期間内にほかの提出書類と同日に郵送すること。

６．日本語学力証明書に関する注意

(1) 外国人（日本の大学院を修了した者及び修了見込みの者を除く）は、必ず提出すること。

(2) 日本語学力証明書の様式は、原則として本案内添付の様式を使用すること。これと別な様式とする場合は、「話す力」「聞く力」「書く力」及び「読む力」の評価並びにその評価方法等が記載された内容の証明書とすること。

７．各種証明書及び出願書類等に関する注意

(1) まれに発行元の都合で証明書の原本を提出できずにコピーを提出する場合があるが、この場合、発行元又は公的機関で原本と相違ないことを証明のうえ、提出すること。

(2) 提出する証明書、論文等は、日本語又は英語によることを原則とするが、やむを得ない事情により、他の言語の証明書を提出する場合は、和訳又は英訳した文書を添付すること。

８．各種提出書類等に関する注意

(1) 東京大学大学院学際情報学府学際情報学専攻博士課程学生募集要項（冬季募集）「7.提出書類等」に基づき書類等を整理して各自で用意した角形 2 号の封筒（240㎜×322㎜）に封入し、書留速達郵便で送付すること。

(2) 「受験番号」欄以外は、それぞれの書類の注意書き等に従い、該当する箇所すべてを記入すること。

(3) 複数の書類に共通して記入する事項については、記入後、相違がないか必ず確認すること。

(4) 「研究計画書」は、必ず表紙(所定様式)の後ろに添付して、左上をホッチキス又は糊で綴じること（クリップ留めは不可)。

(5) 「自己推薦書」に情報学及びその関連する分野における実績として提出する成果物は、ファイル等により散逸しない形状とし、表に氏名を明記の上、すべての出願書類等と共に提出すること。また、提出物が書類の場合、ページ数の多少に関わらず、自己推薦書・研究計画書等とは別冊として同封すること。

(6) 受験票送付用封筒として、各自で用意した長形３号の封筒（120㎜×235㎜）の表（おも

て）に出願者本人のあて先（郵便番号、住所及び氏名）を記入し 372 円分の切手を必ず貼り提出すること。

(7) 出願書類(各種証明書等)に記載されている氏名と現在の氏名が異なる場合は、改姓名したことが確認できる証明書を添付すること。

９．出願書類の作成上の注意

(1) 本学府指定の様式（願書等）は、必ず、両面印刷で印刷すること。印刷の際には、裏表が同じ向き（上下）となるように印刷すること。

(2) 推薦書、研究計画書（表紙）及び自己推薦書については、ワープロでの作成を可とする。ワープロで作成する場合、直接印刷・入力を推奨する。

(3) その他の様式については、手書きによる作成を推奨する。

文化・人間情報学コース案内

本学府博士課程[文化・人間情報学コース]は、21 世紀的な諸課題に理論的かつ実践的に取り組んでいくことのできる深い学識と精緻な方法的能力をそなえた研究者や実践者を養成する教育を行います。具体的な研究分野には、生命、身体、環境、文化、表象、歴史情報、メディア表現、学習、リテラシー等の諸領域が含まれます。

１．募集人員

募　集　人　員
１１名

（注）試験の結果によっては、入学許可者数が募集人員に達しない場合もある。

２．試験科目等（一般選抜）

(1) 一次試験

判定は、提出書類等に基づく書類選考により行う。

(2) 二次試験

一次試験合格者のみを対象として行う。

試　　験	内　　容
口述試験	修士の学位論文又はこれに代わるものの審査、研究能力及び研究計画について総合的に行う。必要に応じて、パーソナルコンピュータ用のプロジェクタとスピーカーを使用することができる。また、A4 用紙の資料を配布することもできる。

外国語（英語）試験について

出願資格(4)から(13)による出願者は、TOEFL の成績の提出が必要である。成績の提出方法は以下のとおりとする。

TOEFL (http://www.cieej.or.jp/toefl/)

試験の種類： TOEFL の試験の種類は、TOEFL-iBT または TOEFL-PBT のいずれかとする。
※TOEFL-ITP の成績は受け付けない。

有効期限： 本学府入学試験の 2 年前(2015 年)の 1 月 1 日以降、出願受付期間終了までに受験したものに限定する。

提出書類： 下記①と②両方とも必要

①「Examinee Score Report (Examinee's Score Record)」のコピー

Examinee Score Report (Examinee's Score Record)は、ETS (Educational Testing Service) から本人に送付されるものである。

②「Official Score Report」

Official Score Report は、ETS から大学院学際情報学府宛に直送されるものである。

受験生は、ETS に対して Official Score Report の送付を請求する必要がある。

提出方法： ①Examinee Score Report (Examinee's Score Record)のコピーは、願書提出時に他の書類と共に学際情報学府に提出することを原則とする。ただし、上記有効期限内に受験したもので、願書提出期間に間に合わない場合は、願書提出時には「提出が遅れる」旨のメモ（用紙・様式任意）を同封し、別途、各自で用意した封筒により、平成 29(2017)年 1 月 12 日（木）必着で書留速達郵便により郵送すること。

②Official Score Report の到着期限は、平成 29(2017)年 1 月 12 日（木）必着とする。ETS に対して東京大学大学院学際情報学府宛「Institution Code コード：0440 (U of Tokyo, Grad Sch Inter Info)」へ送付するよう必ず請求する。

注）請求方法などは、TOEFL のウェブサイトで十分確認すること。
http://www.cieej.or.jp/toefl/toefl/scores.html

注意事項： ※ Official Score Report が複数枚届いた場合は、①と同一のスコアを採用する。

※ 各スコアの到着には約 6 週間程度かかることがあるので、日程に余裕を持って受験又は請求すること。詳しくは TOEFL ウェブサイトで確認すること。

※ 不正な方法で提出したことが判った場合は、受験後であっても、受験資格を取り消す。

文　化　・　人　間　情　報　学　コ　ー　ス
学　生　受　入　教　員　名　簿（博士課程）

学際情報学府博士課程指導教員のうち、平成 29（2017）年度において学生受入を行う教員は以下のとおりである。
「指導教員希望調査書」に記入する教員名は、必ず以下に記載された教員から選ぶこと。

教員名	役職	本コースにおける担当専門分野（キーワード）
板倉　聖哲	教授	東アジア美術史、中国絵画、韓国絵画、文人表象、美術コレクション
伊東　乾	准教授	非線形音楽音声解析、動的音場解析、表現倫理
植田　一博	教授	認知科学、認知脳科学、知能情報学、行動経済学、アートとスキルのサイエンス、ヒューマン・ロボット・インタラクション
大島　まり	教授	コンピュータシミュレーション、流れのビジュアルセンシング、血行力学、医工連携、知の社会浸透
岡田　猛	教授	芸術創作，芸術表現の教育支援，創造性，認知科学，心理学
影浦　峡	教授	本、翻訳、図書館、情報媒体、言語処理
菊地　大樹	准教授	日本中世、仏教、金石文、古記録、歴史情報
工藤　和俊	准教授	スポーツ、音楽演奏、巧みさ、力学系アプローチ、知覚－行為循環
倉田　博史	教授	統計学、統計的多変量解析、行列論、非負行列、計量経済学
佐倉　統	教授	生物進化と文化進化､科学技術社会論､科学技術コミュニケーション、脳神経倫理
鶴田　啓	教授	日本近世史、対外関係、幕藩関係、日朝関係、歴史情報
中原　淳	准教授	人材育成、職場、学習、マネジメント、大学生研究、大学教育研究
丹羽　美之	准教授	テレビ、ジャーナリズム、ポピュラー文化、アーカイブ、戦後日本
原田　至郎	准教授	国際政治、紛争、戦争、コンピュータ、文字コード、国際標準、ガヴァナンス
開　一夫	教授	赤ちゃん学、認知科学、神経科学、機械学習、計算モデル
堀　里子	准教授	医薬品情報学、薬物動態学、医療薬学、医薬品適正使用、育薬、市販後調査と情報、地域医療と薬局・薬剤師

前田　幸男	教授	世論調査、選挙研究、マスメディアと政治、政治コミュニケーション、国際比較調査、統計データ・アーカイブ
真鍋　祐子	教授	コリアン・スタディーズ、宗教運動と民衆運動、ナショナリズムとツーリズム
三輪　　哲	准教授	計量社会学、社会調査法、階級・階層・移動、縦断的研究、データ・アーカイブ
水越　　伸	教授	メディア論、メディア・リテラシー、ワークショップ、メディア共同体、メディア史
武藤　香織	教授	研究倫理、医療イノベーション政策、社会学、生命倫理学、障害学
山内　祐平	教授	オンライン学習、ワークショップ、ラーニングコモンズ、学習コミュニティ
山本　博文	教授	歴史情報、日本近世史、日本文化論、時代考証
吉見　俊哉	教授	カルチュラル・スタディーズ、オーディエンス、都市、戦後日本、アーカイブ

（五十音順）

2016 年 11 月 2 日掲載

植田教授と中原准教授が追加になりました。

平成 29(2017)年度
東京大学大学院学際情報学府
学際情報学専攻

文人

博士課程[文化・人間情報学コース]

入学願書(冬季募集)

受験番号※

正

ふりがな

氏名 ― 外国籍の者は外国人登録証明書の氏名
（自著）

（ローマ字表記：　　）

現在の学生証番号（東京大学）
東京大学大学院を平成 29（2017）年 3 月に修了見込みの者のみ記入

生年月日 / 性別

年　　月　　日生　　男・女

国籍 ― 外国籍の者のみ記入

在留の資格 ― 外国籍の日本在住者のみ記入

出身大学　国立 ・ 公立 ・ 私立

大学

学部

学科

年　　月　　卒業・卒業見込

学費種別 ― 外国籍の者のみ記入

☐ 文部科学省奨学金（国費）留学生
（　　年　　月 ～　　年　　月）

☐ 私費留学生、その他

出身大学院　国立 ・ 公立 ・ 私立

大学大学院

研究科・学府

専攻

年　　月　　修了・修了見込

外国語（英語）の受験方法

☐ TOEFL 成績証明書を提出する

現在の身分 ― 出身大学院以外に在学・在籍中の場合のみ、所属等を具体的に記入

☐無職
☐有職
所属等（　　）

写真貼付欄

最近３か月以内撮影の
正面上半身脱帽のもの
（縦 5cm×横 4cm）

現住所
〒

tel
fax
e-mail

受験票送付場所 ― 現住所と異なる場合のみ記入
〒

tel
fax
e-mail

緊急時連絡先
〒

tel
fax
e-mail

1. □欄は、該当する項目にレ印を付けること。そのほかの選択記入欄は、該当する項目を〇で囲むこと。
2. 裏面の「履歴」欄も詳しく記入すること。
3. 本入学願書・正は必ず、両面印刷で印刷し提出すること。
4. ※印の欄は記入しないこと。

平成 29(2017)年度
東京大学大学院学際情報学府
学際情報学専攻

文人

博士課程[文化・人間情報学コース]
入学願書（冬季募集）

正

履歴 ●── 高等学校卒業以降の履歴を学歴（入学、卒業）、職歴、研究歴の順に記入すること。

年　月	高等学校　卒業
年　月	
年　月	
年　月	
年　月	
年　月	
年　月	
年　月	
年　月	
年　月	
年　月	
年　月	
年　月	
年　月	
年　月	

諸外国の学校教育制度により大学を卒業した者は、下記の欄も記入すること。

●──（　）内に在学年数を、[　]内に正規の修業年数を記入すること。

年　月～　年　月（　）[　]	小学校
年　月～　年　月（　）[　]	中学校
年　月～　年　月（　）[　]	高校
年　月～　年　月（　）[　]	大学
年　月～　年　月（　）[　]	大学院

平成 29(2017)年度
東京大学大学院学際情報学府
学際情報学専攻

文人

博士課程[文化・人間情報学コース]

入学願書(冬季募集)

受験番号※

副

ふりがな

氏名 ― 外国籍の者は外国人登録証明書の氏名

（ローマ字表記：　　）

現在の学生証番号（東京大学）
東京大学大学院を平成 29（2017）年 3 月に修了見込みの者のみ記入

生年月日 / 性別

年　　月　　日生　　男・女

国籍 ― 外国籍の者のみ記入

在留の資格 ― 外国籍の日本在住者のみ記入

出身大学　国立 ・ 公立 ・ 私立

大学

学部

学科

年　　月　　卒業・卒業見込

学費種別 ― 外国籍の者のみ記入

☐ 文部科学省奨学金（国費）留学生
（　　年　　月 ～　　年　　月）
☐ 私費留学生、その他

出身大学院　国立 ・ 公立 ・ 私立

大学大学院

研究科・学府

専攻

年　　月　　修了・修了見込

外国語（英語）の受験方法

☐ TOEFL 成績証明書を提出する

現在の身分 ― 出身大学院以外に在学・在籍中の場合のみ、所属等を具体的に記入

☐ 有職
☐ 無職
所属等（　　）

写真貼付欄

最近３か月以内撮影の
正面上半身脱帽のもの
（縦 5cm×横 4cm）

現住所
〒
tel
fax
e-mail

受験票送付場所 ― 現住所と異なる場合のみ記入
〒
tel
fax
e-mail

緊急時連絡先
〒
tel
fax
e-mail

1. □欄は、該当する項目にレ印を付けること。そのほかの選択記入欄は、該当する項目を〇で囲むこと。
2. 裏面の「履歴」欄も詳しく記入すること。
3. 本入学願書・副は必ず、両面印刷で印刷し提出すること。
4. ※印の欄は記入しないこと。

平成 29(2017)年度
東京大学大学院学際情報学府
学際情報学専攻

文人

博士課程[文化・人間情報学コース]
入学願書（冬季募集）

副

履歴 ●── 高等学校卒業以降の履歴を学歴（入学、卒業）、職歴、研究歴の順に記入すること。

年　月	高等学校　卒業
年　月	
年　月	
年　月	
年　月	
年　月	
年　月	
年　月	
年　月	
年　月	
年　月	
年　月	
年　月	
年　月	
年　月	

諸外国の学校教育制度により大学を卒業した者は、下記の欄も記入すること。

●──（　）内に在学年数を、[　]内に正規の修業年数を記入すること。

年　月～　年　月（　）[　]	小学校
年　月～　年　月（　）[　]	中学校
年　月～　年　月（　）[　]	高校
年　月～　年　月（　）[　]	大学
年　月～　年　月（　）[　]	大学院

文人

写真貼付欄

最近３か月以内撮影の
正面上半身脱帽のもの
（縦 5cm×横 4cm）

平成 29(2017)年度 受験票 学際情報学専攻 博士課程(冬季募集)

氏名 ― 外国籍の者は外国人登録証明書の氏名

受験番号

志願コース

文化・人間情報学コース

現住所
〒

tel

東京大学大学院学際情報学府　博士課程

注：Ａ４サイズで印刷すること。

※本受験票は必ず、両面印刷で印刷し提出すること。

文人

文人

文人

空　白

平成 29（2017）年度
東京大学大学院学際情報学府
学際情報学専攻

文人

博士課程（冬季募集）

指導教員希望調査書

受験番号 ●― この欄は記入しないこと

氏名	

文人

研究テーマ ●― 希望する研究テーマを４０字以内で簡潔に記入すること。

文人

指導教員希望順位

希望順位	教員氏名
1	
2	
3	
4	
5	

(1) 「文化・人間情報学コース学生受入教員名簿（博士課程）」を参照の上、作成すること。

(2) 必ず「文化・人間情報学コース学生受入教員名簿（博士課程）」に記載された教員から選ぶこと。

なお、本学府の修士課程修了見込みの者については、一部取り扱いが異なるので注意すること。

(3) 希望順に最大５名まで、可能な限り複数名記入すること。

(4) 指導教員は本調査書の内容を尊重の上、入学後に最終的に決定される。この書類で希望した以外の教員が指導教員になる場合もある。

※本指導教員希望調査書は必ず、両面印刷で印刷し提出すること。

文人

文人

空　　白

平成 29（2017）年度
東京大学大学院学際情報学府
学際情報学専攻

文人

博士課程（冬季募集）

研究計画書[表紙]

受験番号 ●― この欄は記入しないこと

氏名	

文人

研究テーマ ●― 希望する研究テーマを４０字以内で簡潔に記入すること。

文人

キーワード ●― ５単語程度

研究要旨 ●― ２００字程度

(1) Ａ４判任意用紙２枚程度にまとめた研究計画書を添付し、左上をホッチキス又は糊で綴じること。
(2) 研究計画書などの提出書類は入学者選抜のための重要な判断材料になる。
(3) 本研究計画書[表紙]は、両面印刷で印刷し提出すること。

文人

文人

空　　白

平成 29（2017）年度
東京大学大学院学際情報学府
学際情報学専攻

文人

博士課程（冬季募集）

自己推薦書

受験番号 ●― この欄は記入しないこと

氏名	

文人

自己推薦文 ●― 志願者自身の基礎学力及び専門領域の能力を自らが評価し、記入すること。

文人

研究に役立つと思われる免許・資格等を有していれば、その取得年月と名称を以下に記入すること。
（TOEIC 等の語学検定試験については、その成績も付記すること。）

(1) 必要に応じ、情報学及びその関連する分野における実績があれば、その概要を記したものや目録、現物またはそのコピー（著書、論文、報告書、作品など。ただし、主要なもの１編に限る。）を他の出願書類とともに同封して提出すること。
(2) 裏面も必ず記入すること。
(3) 本自己推薦書は必ず、両面印刷で印刷し提出すること。

平成29（2017）年度 東京大学大学院学際情報学府 学際情報学専攻 **文人**	博士課程（冬季募集） 自己推薦書	

情報学及びその関連する分野における実績に関する提出物の有無とその分類

1. 提出物の有無 ●― 有無のどちらかを○で囲むこと。	有　・　無

2. 提出物の分類・内容

（1）提出物の分類により、提出チェック欄の番号を○印で囲むこと。
（2）提出物の分類が「その他」の場合、同欄（　）内に具体的に記入すること。
（3）○印を記した提出物については、提出物の内容欄に、題名や内容を簡潔に記入すること。各種記録媒体の場合は、規格、ソフト名なども記入すること。

提出チェック	提出物の分類	提出物の内容
1	論文	
2	書籍	
3	書類（報告書、業績リスト等）	
4	ＣＤ－ＲＯＭ	
5	ＤＶＤ－ＲＯＭ	
6	ＵＳＢメモリ	
7	その他（　　）	

平成 29（2017）年度
東京大学大学院学際情報学府
学際情報学専攻

文人

博士課程（冬季募集）
Doctoral Program (Winter Recruitment)

推　薦　書
Letter of Recommendation

受験番号 ●― この欄は記入しないこと

●文化・人間情報学コース、先端表現情報学コース及び総合分析情報学コースを志望する者のみ提出すること。

志願者氏名 Name of Applicant	

●― 記入者は、任意の封筒に入れ、厳封の上、志願者にお渡し願います。
Please seal this recommendation in an envelope and give it to the applicant.

文人

推薦者記入欄
To be filled in by the referee

志願者との関係 Relation to the applicant	
志願者との交流期間 How long you have known the applicant	

文人

推薦文（ワープロ作成可）Recommendation (Use of a word-processor is permitted.)

（裏面に続く）

※出願する際は必ず、両面印刷で印刷し提出すること。The two pages of this form must be printed on opposite sides of a single sheet of paper.

平成 29（2017）年度
東京大学大学院学際情報学府
学際情報学専攻

文人

博士課程（冬季募集）

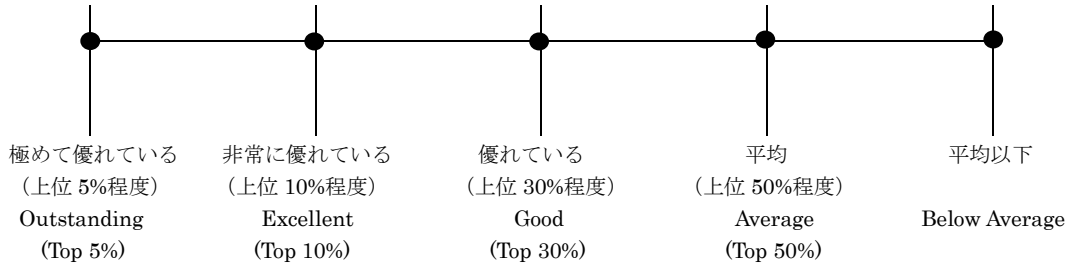
推　薦　書

文人

文人

評価●— 推薦者が指導・交流した中で、志願者はおよそ下線のどの位置になるかを○でマークしてください。

Evaluation: please give your assessment of the applicant's position in relation to other students you know or have supervised by marking a circle on the scale below.



極めて優れている（上位 5%程度） Outstanding (Top 5%)	非常に優れている（上位 10%程度） Excellent (Top 10%)	優れている（上位 30%程度） Good (Top 30%)	平均（上位 50%程度） Average (Top 50%)	平均以下 Below Average

上記の通り相違ありません。I hereby certify that the above is true.

Date (Y/M/D)　年　月　日

記入者 Information on the person filling out this form	所属機関・職名等 Place of employment and job title, etc		
	氏名 Name		印 Signature
	連絡先住所 Contact Address		Tel

●— 記入者は、任意の封筒に入れ、厳封の上、志願者にお渡し願います。

平成 29（2017）年度
東京大学大学院学際情報学府
学際情報学専攻

文人

博士課程（冬季募集）

日本語学力証明書

CERTIFICATE OF PRQFICIENCY IN JAPANESE

●外国人出願者のみ提出すること。（ただし、日本の大学を卒業した者又は卒業見込みの者については不要）
●日本語教授者、その他適当な方に記入を依頼して下さい。
This sheet should be completed by your instructor in Japanese or any other qualified person.

志願者氏名 (Name of applicant)	
住所 (Address of applicant)	

文人

文人

日本語能力の評価（EVALUTION OF APPLICANT'S ABILITY IN JAPANESE）

	優 （Excellent）	良 （Good）	可 （Fair）	不可 （Poor）
話す力（Speaking）	☐	☐	☐	☐
聞く力（Hearing）	☐	☐	☐	☐
書く力（Writing）	☐	☐	☐	☐
読む力（Reading）	☐	☐	☐	☐

能力評価のために用いられた方法（Method used to test the applicant's ability）

備考（Remarks）:

署名 (Signature)	
氏名 (Name)	
機関及び職名 (Present Position and Status)	
住所 (Address)	

日付(Date)	

※本日本語学力証明書は必ず、両面印刷で印刷し提出すること。

文人

空　　白

文人

平成 29（2017）年度 東京大学大学院学際情報学府 学際情報学専攻 **文人**	博士課程（冬季募集） 「東京大学」入学検定試験検定料 振込金受付証明書（C 票）等 貼付用紙	受験番号 ●― この欄は記入しないこと

※検定料をコンビニエンスストアで払い込んだ場合は「収納証明書」を、クレジットカードで払い込んだ場合は、プリントアウトした「申込内容照会結果」を本用紙に貼り付けてください。

文人

文人

のりづけ

※本入学検定試験検定料振込金受付証明書（C 票）等貼付用紙は必ず、両面印刷で印刷し提出すること。

文人

空　　白

文人

平成　　年　　月　　日

論文要旨[東京大学大学院学際情報学府博士課程出願者提出]	志望コース	受験番号
論 文 添 付 票	文化・人間情報学コース（冬季募集）	

ふりがな	出身大学院
氏　　名　　印	大学大学院　研究科　専攻

論文題目

論文の種別　□ 修士学位論文の写し　□ 修士学位論文に代わるもの	論文冊数（総頁数）　冊（計　頁）

●― 提出論文の表紙の表側に糊又はセロテープで貼付すること。
●― 出願資格（1）による出願者（本学府において平成 29（2017）年 3 月 31 日までに修士の学位を得る見込みの者）は、本添付票は不要。

キリトリ

平成　　年　　月　　日

論文要旨[東京大学大学院学際情報学府博士課程出願者提出]	志望コース	受験番号
論 文 添 付 票	文化・人間情報学コース（冬季募集）	

ふりがな	出身大学院
氏　　名　　印	大学大学院　研究科　専攻

論文題目

論文の種別　□ 修士学位論文の写し　□ 修士学位論文に代わるもの	論文冊数（総頁数）　冊（計　頁）

●― 提出論文の表紙の表側に糊又はセロテープで貼付すること。
●― 出願資格（1）による出願者（本学府において平成 29（2017）年 3 月 31 日までに修士の学位を得る見込みの者）は、本添付票は不要。

キリトリ

平成　　年　　月　　日

論文要旨[東京大学大学院学際情報学府博士課程出願者提出]	志望コース	受験番号
論 文 添 付 票	文化・人間情報学コース（冬季募集）	

ふりがな	出身大学院
氏　　名　　印	大学大学院　研究科　専攻

論文題目

論文の種別　□ 修士学位論文の写し　□ 修士学位論文に代わるもの	論文冊数（総頁数）　冊（計　頁）

●― 提出論文の表紙の表側に糊又はセロテープで貼付すること。
●― 出願資格（1）による出願者（本学府において平成 29（2017）年 3 月 31 日までに修士の学位を得る見込みの者）は、本添付票は不要。

平成　　年　　月　　日

論文要旨[東京大学大学院学際情報学府博士課程出願者提出]	志望コース	受験番号
論 文 要 旨 添 付 票	文化・人間情報学コース（冬季募集）	

ふりがな	出身大学院
氏　　名　　印	大学大学院　研究科　専攻

論文題目

論文の種別　□ 修士学位論文の写し　□ 修士学位論文に代わるもの	論文冊数（総頁数）　冊（計　頁）

● 提出論文要旨の表紙の表側に糊又はセロテープで貼付すること。
● 出願資格（1）による出願者（本学府において平成 29（2017）年 3 月 31 日までに修士の学位を得る見込みの者）は、本添付票は不要。

キリトリ

平成　　年　　月　　日

論文要旨[東京大学大学院学際情報学府博士課程出願者提出]	志望コース	受験番号
論 文 要 旨 添 付 票	文化・人間情報学コース（冬季募集）	

ふりがな	出身大学院
氏　　名　　印	大学大学院　研究科　専攻

論文題目

論文の種別　□ 修士学位論文の写し　□ 修士学位論文に代わるもの	論文冊数（総頁数）　冊（計　頁）

● 提出論文要旨の表紙の表側に糊又はセロテープで貼付すること。
● 出願資格（1）による出願者（本学府において平成 29（2017）年 3 月 31 日までに修士の学位を得る見込みの者）は、本添付票は不要。

キリトリ

平成　　年　　月　　日

論文要旨[東京大学大学院学際情報学府博士課程出願者提出]	志望コース	受験番号
論 文 要 旨 添 付 票	文化・人間情報学コース（冬季募集）	

ふりがな	出身大学院
氏　　名　　印	大学大学院　研究科　専攻

論文題目

論文の種別　□ 修士学位論文の写し　□ 修士学位論文に代わるもの	論文冊数（総頁数）　冊（計　頁）

● 提出論文要旨の表紙の表側に糊又はセロテープで貼付すること。
● 出願資格（1）による出願者（本学府において平成 29（2017）年 3 月 31 日までに修士の学位を得る見込みの者）は、本添付票は不要。

東京大学大学院学際情報学府博士課程(冬季募集) 入学試験検定料振込依頼書(銀行振込用)

【志願者へのお願い】
1. 太枠で囲まれている記入欄は、全て黒ボールペンで記入してください。
2. 必ず銀行窓口（ゆうちょ銀行不可）で払い込み、ATM、インターネット等は利用しないでください。
3. 振り込み後、検定料振込金受付証明書（C票）を『「東京大学」入学検定試験検定料振込金受付証明書（C票）等貼付用紙』に貼り付けて提出してください。振込金受取書（B票）は依頼人（志願者）の領収書なので大切に保管してください。
4. 三井住友銀行本支店にて振り込むの場合、振込手数料は無料となりますが、他行から振込の場合の振込手数料は依頼人（志願者）がご負担願います。
5. 留学生のうち日本政府（文部科学省）奨学金留学生は、検定料は不要ですので、振り込まないでください。

A票　（太枠で囲まれている記入欄は、すべて黒ボールペンで記入してください。）

振 込 依 頼 書

出願締切日（金融機関取扱期限）
平成28（2016）年12月8日（木）

（「東京大学」入学検定試験検定料）

ご依頼日	科 目		
平成　年　月　日	電 信 扱	手数料	円
振込先	三井住友 銀行 東京第一 支店	金 額	百万 千 円 3 0 0 0 0
受取人 預金種目	普 通	口座番号	9519802
受取人	(フリガナ) トウキョウダイガク (おなまえ) 東京大学		
依頼人（志願者）	志願者氏名 (フリガナ) (おところ)　(電話)	出納印	

【取扱金融機関へのお願い】
1. 収納印はA・B・C票の3ヶ所にもれなく押印してください。
2. B・C票は、必ず依頼人へお返しください。

（取扱金融機関保管）

「金融機関で切り離してください」

B票

振 込 金 受 取 書

（「東京大学」入学検定試験検定料）

平成　年　月　日		
金 額	百万 千 円 3 0 0 0 0	
振込先	三井住友銀行 東京第一支店	
受取人	トウキョウダイガク 東京大学	
志願者氏名	(フリガナ)	
手数料	円	

出納印

収入印紙

出願締切日（金融機関取扱期限）
平成28（2016）年12月8日（木）

（志願者保管）

「切り離しのうえ、C票を貼付用紙に貼り付けてください」

C票

「東京大学」入学検定試験 検定料振込金受付証明書

平成　年　月　日		
金 額	百万 千 円 3 0 0 0 0	
振込先	三井住友銀行 東京第一支店	
受取人	トウキョウダイガク 東京大学	
志願者氏名	(フリガナ)	

出納印

（願書貼付用）

書　類　送　付　先

入学許可通知用（最終合格者に対して 2 月下旬頃に郵送される入学許可通知の受信場所を記入すること）

(郵便番号)

〒＿＿＿＿＿＿＿＿

(住所)

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（受験者氏名）

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿殿

文化・人間情報学コース（博士課程）出願書類チェックリスト

チェック	書類名	対象者
□	入学願書（正・副）	全員
□	受験票	
□	指導教員希望調査書	
□	研究計画書	
□	自己推薦書	
□	受験票送付用封筒	
□	書類送付先	
□	出願書類チェックリスト	
□	論文	全員（出願資格毎に提出方法等が異なるので、博士課程学生募集要項をよく確認の上、提出すること。）
□	論文要旨	

□	TOEFL成績証明書 （TOEFL-PBTまたはTOEFL-iBTの公式スコアシート）	出願資格（4）～（13）の者
□	出身大学及び出身大学院の成績証明書	出願資格（2）～（13）の者
□	出身大学院の修了証明書	出願資格（2）～（13）の者
□	推薦書	出願資格（2）～（13）の者
□	出身大学院の修了見込証明書	出願資格（4）～（13）の者で外国の大学院の修了見込者のみ
□	検定料 「東京大学」入学検定試験検定料振込金受付証明書（C票）等貼付用紙に以下を添付の上、提出 【銀行振込の場合】 「東京大学」入学検定試験検定料振込金受付証明書（C票） 【コンビニエンスストアでの払込の場合】 収納証明書 【クレジットカードでの払込の場合】 「受付完了画面」のプリントアウト	出願資格（3）～（13）の者 ただし、日本政府(文部科学省)奨学金留学生を除く。
□	日本語学力証明書	外国人（日本の大学院を修了した者及び修了見込みの者を除く）のみ

注：出願の際、本チェックリストにチェックの上、出願書類とともに郵送してください。